

管内地域銀行の平成 26 年 3 月期決算の概要

1. 損益の状況

- 実質業務純益は債券等関係損益の減少等により、25 年 3 月期に比べ 3.8%の減少。
- 当期純利益は、実質業務純益が減少したものの、与信関係費用の減少、株式等関係損益の増加等により、25 年 3 月期に比べ 3.1%の増加。

(単位：億円)

	24 年 3 月期	25 年 3 月期	26 年 3 月期	前年同期比	増減率
業務粗利益	6,217	6,095	6,055	▲ 40	▲0.7%
資金利益	5,453	5,297	5,375	78	1.5%
役務取引等利益	496	491	508	17	3.5%
債券等関係損益	252	266	121	▲ 145	▲54.5%
うち、債券等償却(▲)	▲ 4	▲ 2	0	2	—
経費(▲)	▲ 4,156	▲ 4,019	▲ 4,058	▲ 39	▲1.0%
実質業務純益	2,061	2,075	1,996	▲ 79	▲3.8%
与信関係費用(▲)	▲ 322	▲ 334	▲ 164	170	50.9%
株式等関係損益	▲ 36	▲ 20	160	180	黒字化
うち、株式等償却(▲)	▲ 93	▲ 48	▲ 7	41	85.4%
当期純利益	850	1,194	1,231	37	3.1%

(参考)

	23 年 3 月期	24 年 3 月期	25 年 3 月期	26 年 3 月期
預金等(末残)	35.0 兆円	36.2 兆円	37.7 兆円	38.9 兆円
貸出金(末残)	26.6 兆円	27.3 兆円	27.9 兆円	28.8 兆円

預金等：預金＋譲渡性預金

2. 不良債権の状況

- 不良債権額は 25 年 3 月期に比べ減少。不良債権比率は 0.4P 低下。

	23 年 3 月期	24 年 3 月期	25 年 3 月期	26 年 3 月期
不良債権額	9,246 億円	9,139 億円	9,196 億円	8,174 億円
不良債権比率	3.4%	3.3%	3.2%	2.8%

3. 自己資本比率の状況

- 国際統一基準行は 25 年 3 月期、国内基準行は 26 年 3 月期より、バーゼル 3 の適用を開始。

(国際統一基準行：2 行)

(国内基準行：10 行)

	25 年 3 月期	25 年 9 月期	26 年 3 月期
総自己資本比率	15.7%	15.6%	15.3%
Tier1 比率	13.7%	13.6%	13.7%
普通株式等 Tier1 比率	13.7%	13.6%	13.7%

	26 年 3 月期
自己資本比率	10.8%

- (注 1) 計数は今後業績修正等により変更の可能性がある。
 (注 2) 計数は単体ベース。
 (注 3) 23 年 3 月期から 24 年 3 月期の集計対象は管内 13 行(地方銀行 7 行、第二地方銀行 6 行)
 25 年 3 月期から 26 年 3 月期の集計対象は管内 12 行(地方銀行 7 行、第二地方銀行 5 行)
 (注 4) 経費、与信関係費用、債券等償却及び株式等償却について、正の値は益を、負の値は損を表す。
 (注 5) 増減欄は、正の値が利益の押上げを、負の値が利益の押下げを表す。

【お問合せ先】

財務省 東海財務局 金融監督第一課
TEL：(052) 951-2493

管内地域銀行の平成26年3月期決算の概要



平成26年6月18日

東 海 財 務 局



はじめに

東海財務局管内に本店を置く銀行(以下の12行)の平成26年3月期決算について、取りまとめを行ったのでこれを公表する。

管内の金融機関(全国銀行協会金融機関コード順)

【静岡県内】

静岡銀行(静岡市)、スルガ銀行(沼津市)、清水銀行(静岡市)、静岡中央銀行(沼津市)

【岐阜県内】

大垣共立銀行(大垣市)、十六銀行(岐阜市)

【愛知県内】

愛知銀行(名古屋市)、名古屋銀行(名古屋市)、中京銀行(名古屋市)

【三重県内】

三重銀行(四日市市)、百五銀行(津市)、第三銀行(松阪市)

※ 各計数は、暫定の集計値に基づくものであり、今後変動があり得る。

※ 各計数は、各行の公表資料及び当局調査に基づく計数(単体ベース)を集計したものである。

※ 「管内」の計数の対象金融機関は、以下のとおり。

23年3月期から24年3月期の集計対象は13行(地方銀行7行、第二地方銀行6行)

25年3月期から26年3月期の集計対象は12行(地方銀行7行、第二地方銀行5行)

「全国」の計数の対象金融機関は、以下のとおり。

23年3月期の集計対象は106行(地方銀行63行、第二地方銀行42行及び埼玉りそな銀行)

24年3月期の集計対象は107行(地方銀行64行、第二地方銀行42行及び埼玉りそな銀行)

25年3月期から26年3月期の集計対象は106行(地方銀行64行、第二地方銀行41行及び埼玉りそな銀行)

(定義) ・比率は加重平均。

・端数整理:東海管内の計数集計においては、率による表示部分は単位未満四捨五入、額による表示部分は、単位未満切捨てで処理。

・端数整理後の計数により計算している項目もある。

・東海3県とは、愛知県、岐阜県、三重県に本店を置く地方銀行、第二地方銀行。



(参考)収益指標

- 業務粗利益

業務粗利益 = 「資金利益」+「役務取引等利益」+「その他業務利益等」

- 実質業務純益

実質業務純益 = 「業務粗利益」-「経費」

- コア業務純益

コア業務純益 = 「実質業務純益」-「債券等関係損益」

○債券等関係損益 = 債券等関係収益(売却益+償還益) - 債券等関係損失(売却損+償還損+償却)

- 業務純益

業務純益 = 「業務収益」-「業務費用」
= 「業務粗利益」-「経費」-「一般貸倒引当金純繰入額」

○業務収益 = 「資金運用収益」+「役務取引等収益」+「その他業務収益」

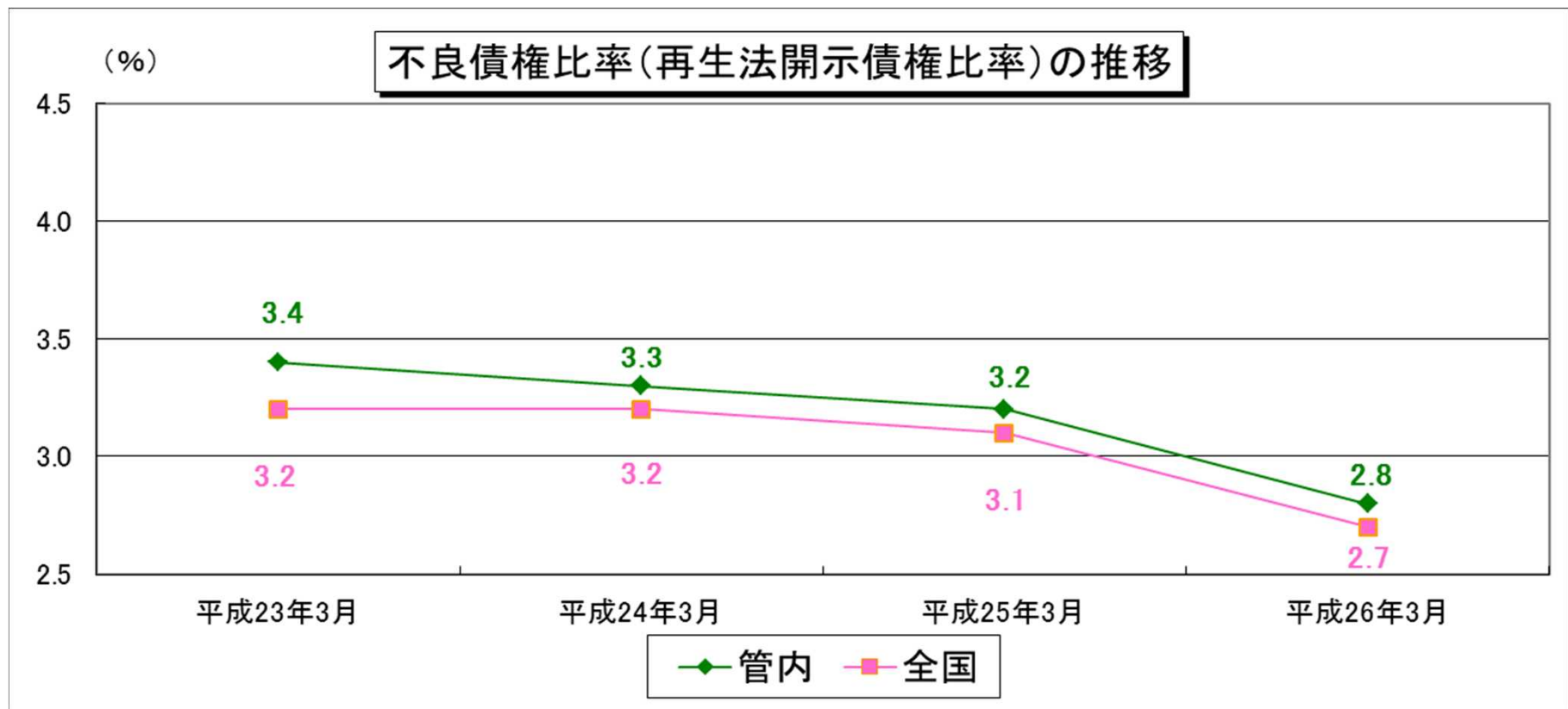
○業務費用 = 「資金調達費用(金銭の信託運用見合費用控除後)」+「役務取引等費用」
+「その他業務費用」+「一般貸倒引当金純繰入額」+「経費」

損益の状況

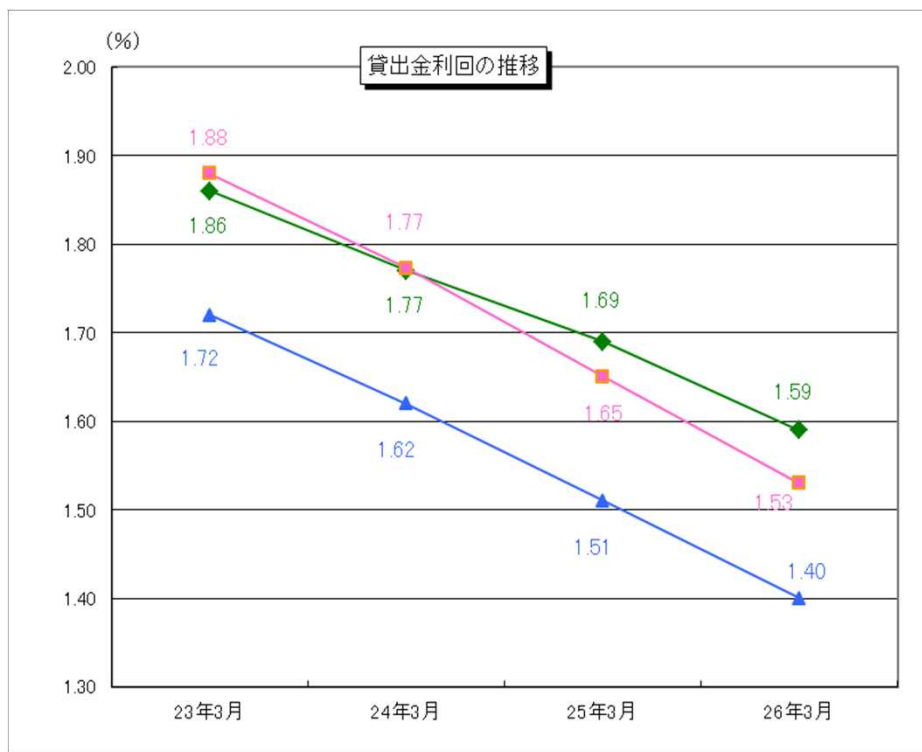
(単位: 億円)

	24年3月期		25年3月期		26年3月期		前期比	
	管内	(参考) 全国	管内	(参考) 全国	管内	(参考) 全国	管内	(参考) 全国
業務粗利益	6,217	49,107	6,095	48,543	6,055	47,808	▲ 40	▲ 735
資金利益	5,453	42,396	5,297	41,048	5,375	41,048	78	▲ 0
役務取引等利益	496	4,594	491	4,790	508	5,096	17	306
債券等関係損益	252	1,363	266	1,958	121	926	▲ 145	▲ 1,032
うち債券等償却 (▲)	▲ 4	▲ 136	▲ 2	▲ 142	0	▲ 41	2	101
経費 (▲)	▲ 4,156	▲ 31,912	▲ 4,019	▲ 31,143	▲ 4,058	▲ 31,171	▲ 39	▲ 28
実質業務純益	2,061	17,195	2,075	17,399	1,996	16,636	▲ 79	▲ 763
与信関係費用 (▲)	▲ 322	▲ 2,912	▲ 334	▲ 3,650	▲ 164	▲ 1,787	170	1,863
株式等関係損益	▲ 36	▲ 1,230	▲ 20	▲ 811	160	1,256	180	2,067
うち株式等償却 (▲)	▲ 93	▲ 797	▲ 48	▲ 721	▲ 7	▲ 63	41	658
当期純利益	850	7,272	1,194	8,157	1,231	10,709	37	2,552

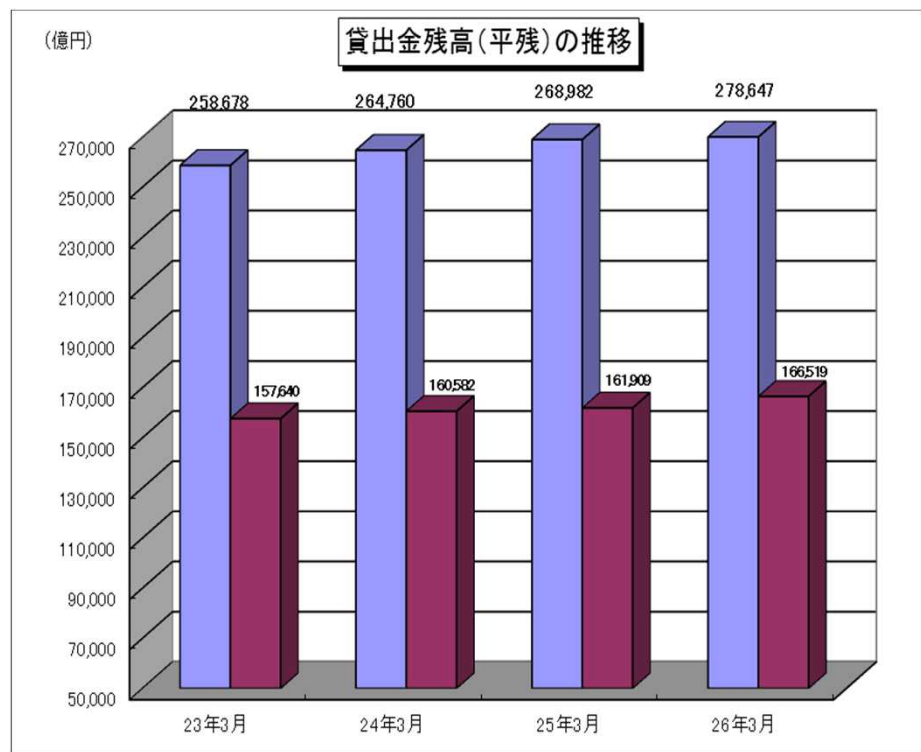
不良債権比率



貸出金利回の状況

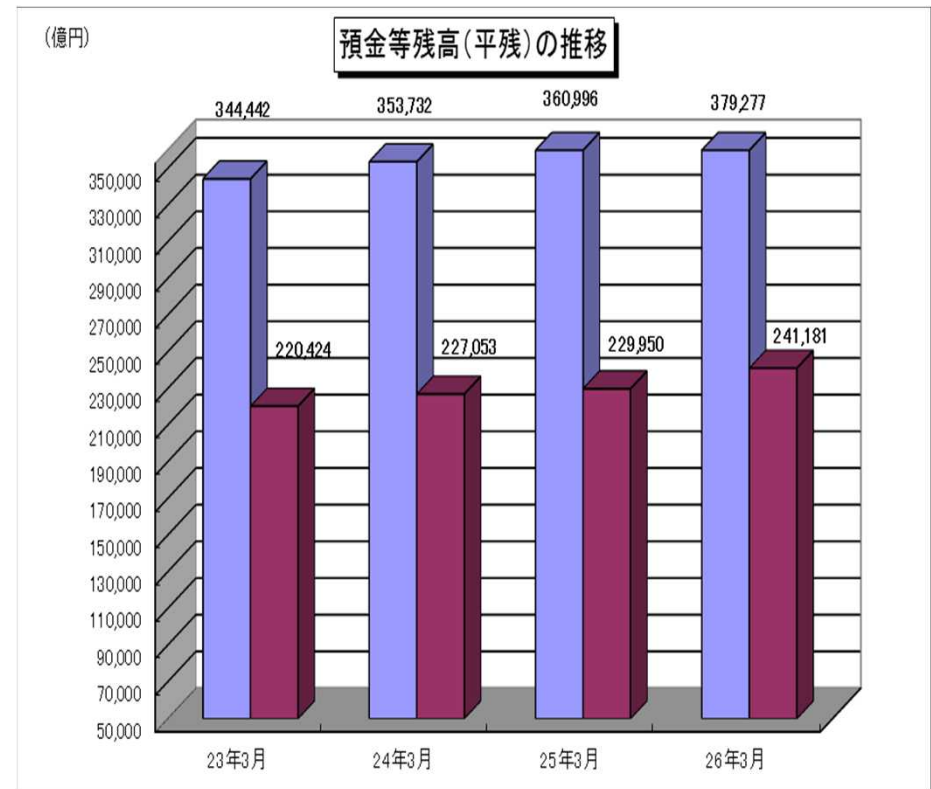
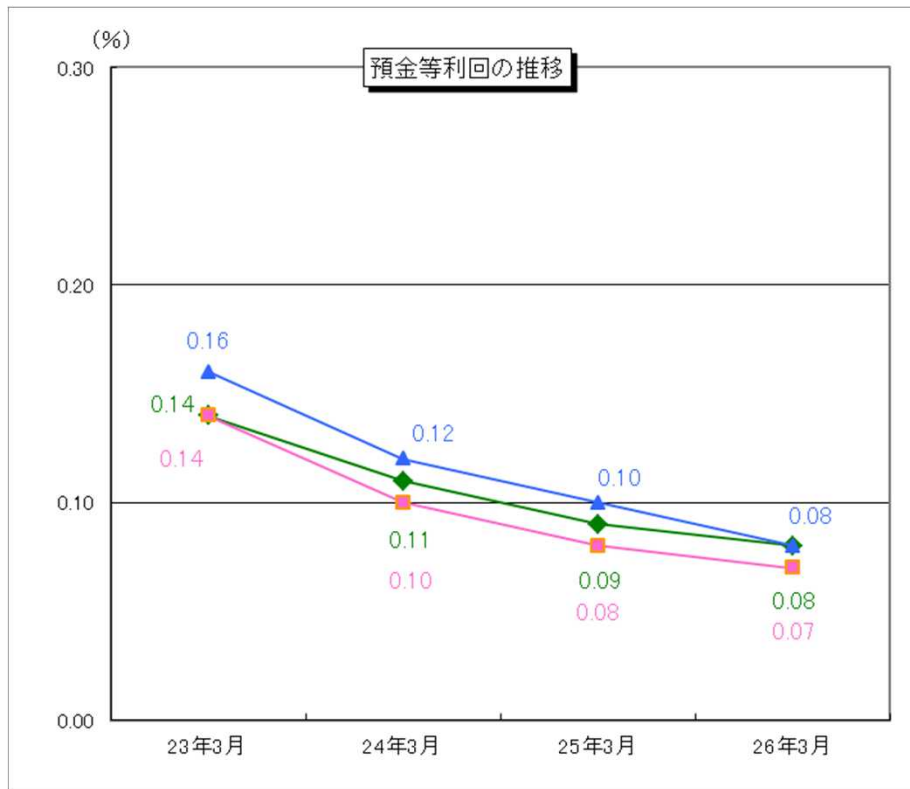


◆ 東海管内 ▲ 東海3県 ■ 全国



■ 東海管内 ■ 東海3県

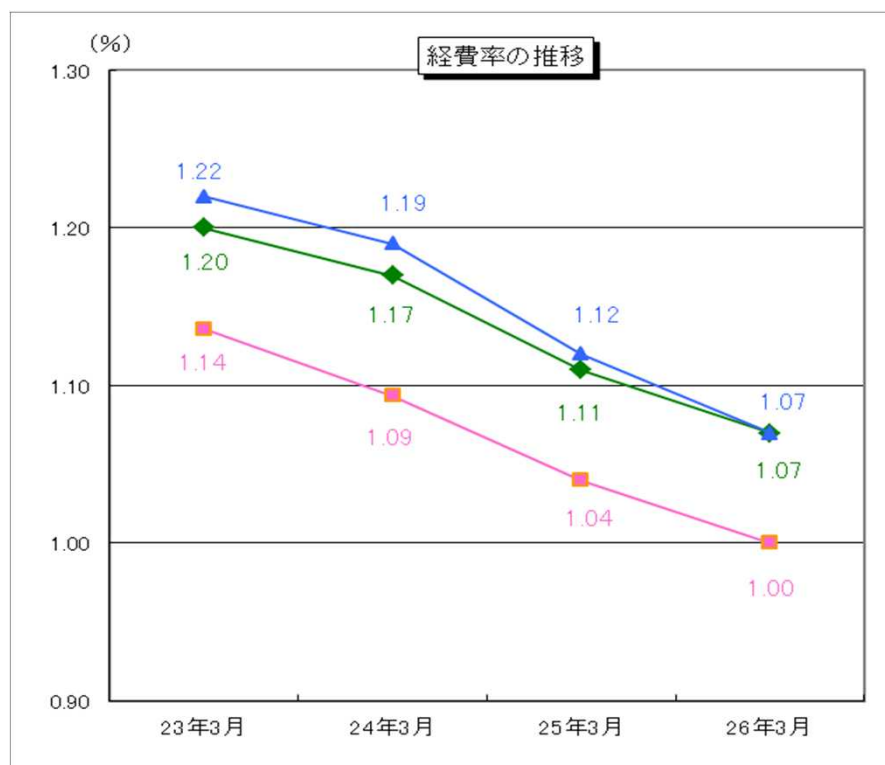
預金等利回りの状況



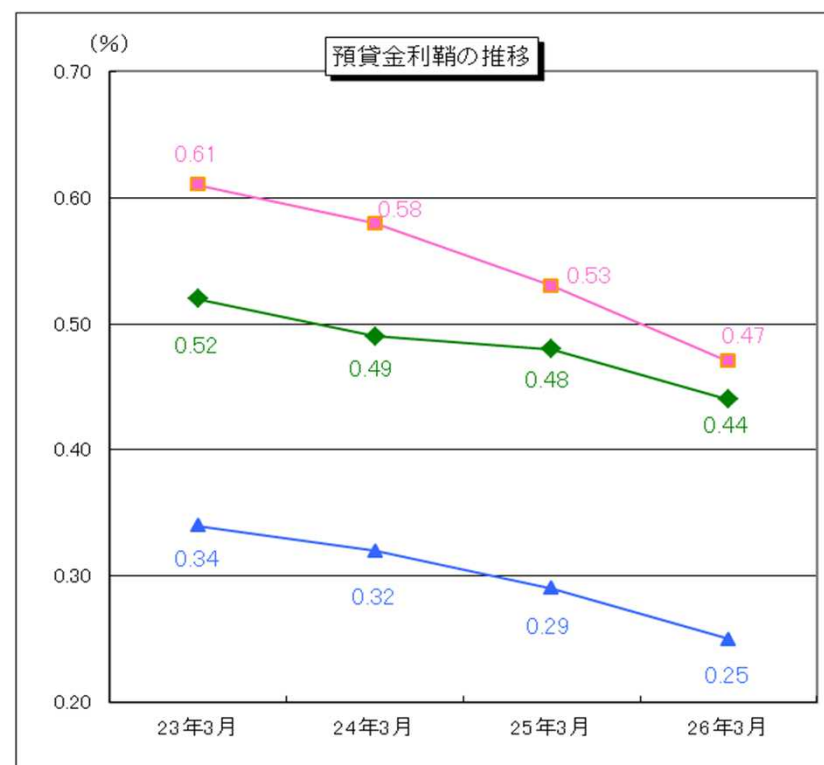
(注) ○預金等＝預金＋譲渡性預金



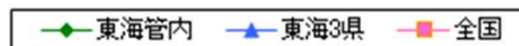
経費率及び預貸金利鞘の状況



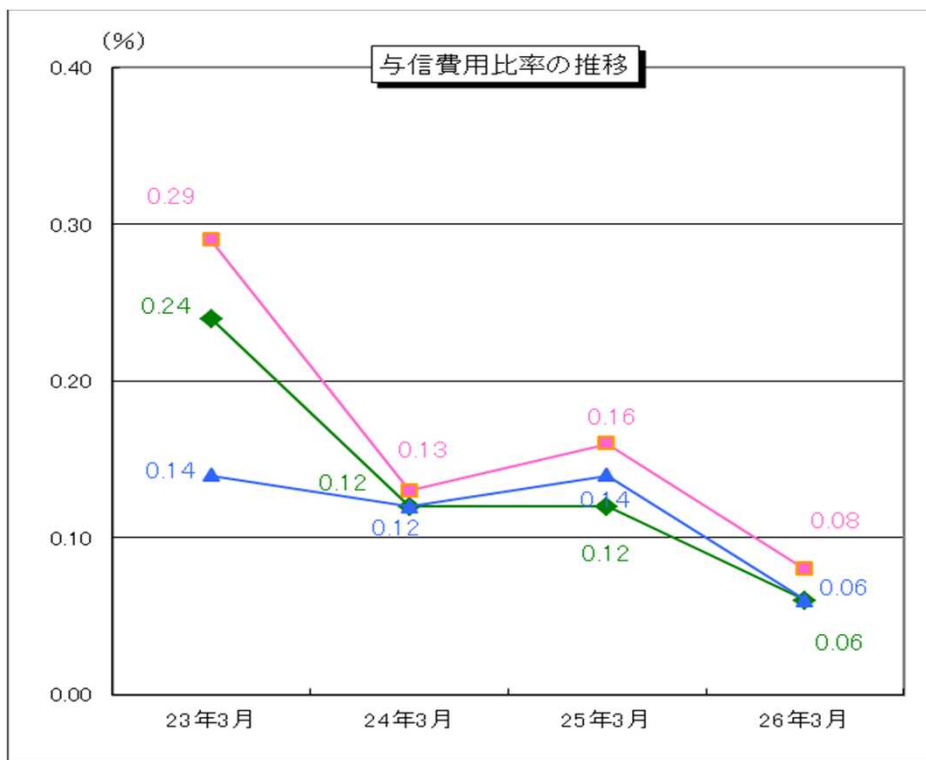
(注) 経費率 (%) = 経費 ÷ 預金等 (平残) × 100



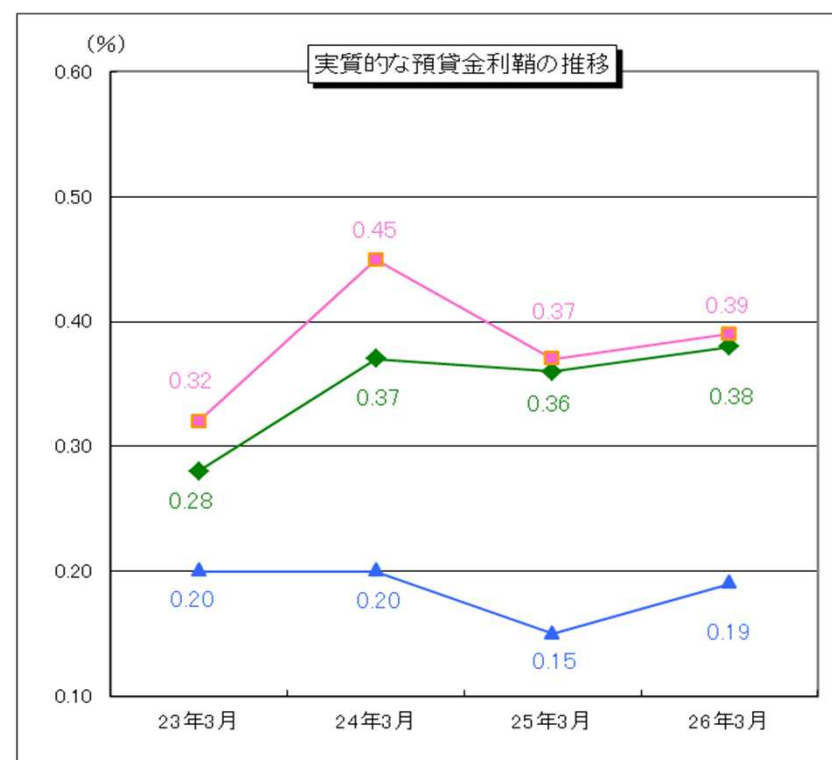
(注) 預貸金利鞘 (%) = 貸出金利回 (%) - 預金債券等原価 (%)
 預金債券等原価 (%) = (預金等利息 + 経費) ÷ 預金等 (平残) × 100



実質的な預貸金利鞘の状況



(注) 与信費用比率(%) = 与信関係費用 ÷ 総与信 × 100



(注) 実質的な預貸金利鞘(%) = 預貸金利鞘(%) - 与信費用比率(%)

